

今月のテーマ 佐倉 オランダ 長崎



田上市長の 恋とトコ

～自らの思いを皆さんに語るコラム～

「西の長崎 東の佐倉」という言葉をこぞ存じますか？

佐倉というのは江戸時代の下総国佐倉藩、今の千葉県佐倉市のことです。野球ファンなら、長嶋茂雄さんの出身校の「佐倉高校」を思い浮かべる人も多いかもしれません。

江戸時代も終盤に差し掛かるころ、佐倉は蘭学が盛んな土地として知られていました。藩主堀田正睦が招いた佐藤泰然によって創設された佐倉順天堂を中心に、多くの人たちがここで西洋医学を学び、また実際に治療が施されました。佐倉順天堂はその後、順天堂大学となり、今も医学教育と医療の実践の歴史を引き継いでいます。

つまり「西の長崎、東の佐倉」というのは、当時の蘭学の先進地を示す言葉なのです。私は、この言葉を数年前に佐倉市の市長さんから教えてもらいました。佐倉市ではよく知られている言葉だということでした。知らなかったことを少し申し訳なく思ったことを覚えていきます。

佐藤泰然は長崎で蘭学を学びましたが、その次男である松本良順も、長崎でポンペに医学を学び、その後、將軍の御典医、軍医などとして活躍しました。長崎大学医学部の中には「ポンペ会館」とともに、「良順会館」があります。良順の名を通じて、長崎と佐倉は今もつながっています。

学を学び、その後、將軍の御典医、軍医などとして活躍しました。長崎大学医学部の中には「ポンペ会館」とともに、「良順会館」があります。良順の名を通じて、長崎と佐倉は今もつながっています。

佐倉も長崎も、江戸時代、多くのことをオランダを通じて学びました。でもそれは単なる昔話ではありません。

長崎大学に今年誕生した多文化社会学部には、オランダ特別コースが設けられています。オランダのことをさまざまな角度から学び、とてもユニークなコースで、学生はライデン大学への一年間の留学が必須になっています。この新学部から、オランダと長崎をつなぐ新しい人たちのネットワークが育っていくことになりました。

そういうえば中学生を海外に派遣する「子どもゆめ体験事業」は3年目になります。今年もオランダのライデン市にお邪魔しました。

ライデン大学日本語学科の卒業生



ホームステイの様子

たちがホームステイをさせてくれたのですが、中学生たちはその体験からとてもたくさんのお話を聞きました。「もつと長くホームステイしたかった」と子どもたちが報告してくれました。

農業、デザイン、福祉…オランダは今も、いろいろな分野で学ぶべきことを持っている国です。昨年、ライデン市と長崎市は市民友好都市の関係を結びました。オランダと長崎の関係は昔話ではなく、新しい関係を紡ぎ発展させる時期に入っているようです。

出島復元事業に大きな貢献をしてきているライデン国立民族学博物館の特任研究員であるマティ・フオーラーさんが今秋、旭日小綬章を受章されました。心からお祝いしたいと思います。

フオーラーさんは長崎にとって恩人であると同時に、長崎をこよなく愛してくれている友人でもあります。都市と都市、国と国との関係は、つまるところ人と人がつなぐのだ、とあらためて思います。これからも長崎は海外に多くの友人を持つまちでありたいと思います。



景色が望める展望台

公園脇にはとてもきれいな「大川」が流れています



10月にリニューアルしたターザン回廊



階段を登った先に芝生広場があります

出かけて見る・知るまちのオススメスポット



寒い季節こそ体を動かそう！

元宮公園

市中心部からバスに乗り、南へ約30分。「元宮公園」バス停で下車し、徒歩3分で公園に到着♪

桜の開花時期には、多くの人で賑わうという公園には、野球・サッカーなどが楽しめる多目的広場や、テニスコートなどがあり、自然の中を散歩できるウォーキング・サイクリングコースもあります。

今回はウォーキングコースを選択し、丘の上にある芝生広場を目指しました！

このコースは途中、400段程の階段が待っています。根気強く登っていくと、体がぽかぽかと温まり森林浴もできるので、体と心のリフレッシュになります。また、芝生広場でお弁当を食べるのも、開放感があつておすすめですよ。

自然豊かな元宮公園へ、あなたもぜひお出かけください！